

# 赤字知らずの非常識経営！

**報連相禁止・年間休日140日・残業禁止・終身雇用で地域一番給与・震災に1億円寄付！“管理をやめ部下を信用すれば”会社は伸びる。**



未来工業株式会社  
代表取締役社長

## 瀧川 克弘 氏

2013年2月7日(木)

■時間 19:00～21:00

■場所 ホテルグランテラス仙台湾分町 10階

(旧・ホテルリッチフィールド仙台)

〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町2-2-2  
TEL 022-262-7755

■会費 法人会 会員の方 お一人様 3,000円  
(受講券利用(1,000円割引)後の金額になります。)  
一般の方 お一人様 4,000円  
(※会員や関係者の紹介があれば 3,000円です)

●主催 (社)仙台北法人会

●問合せ (社)仙台北法人会 事務局 担当:佐々木

(仙台市青葉区大町1-1-30 新仙台ビルディング6階)

TEL 022-263-0151 e-mail:info@kitaho.or.jp

**申し込み受付中！振ってのご参加をFAXで！022-268-0205**

未来工業(株)は、住宅などに使われる電気関係の設備素材、電気設備資材、給排水設備およびガス設備資材の製造販売を行っている。商品数は約1万9000種類あり、その中でもスイッチングボックスでは日本のシェア80%以上を誇る。

現在、未来工業に所属している社員は約780人いるが、そのすべての社員に徹底して教え込まれているのが「自分で考え自分で動く」ということだ。現在の企業では当たり前になっている「ホウ・レン・ソウ」はここにはない。

勤務時間は午前8時30分から午後4時45分(昼休み1時間)まで、実働7時間15分、年末年始19連休を含む年間休暇140日、残業禁止、年功序列の終身雇用、定年70歳まで、地域一番の給与。

それでも、毎年、経常利益を上げている理由は一体どこにあるのだろうか。

瀧川氏はトップの交代や時代、環境の変化で、企業の文化は少しずつ変わるものと自覚しながらも、これだけは絶対に変えないと誓う3つの“未来工業の文化”を掲げている。一、人を大切にする。二、ケチを貫く＝常に考える。三、経営者が公私混同しない。 **第1回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞・最優秀・経済産業大臣賞受賞(2011年5月)**

### 【瀧川克弘氏 プロフィール】

1946年生まれ。66年大阪府立天王寺高校卒業後、地元大阪で照明器具の製造販売メーカーに就職、営業マンとして全国を飛び回る。

10年で取締役に昇進したものの、大手商社からの子会社化の提案をオーナー社長が受け入れたため、辞職。

そのころ、北海道出張時に出会った未来工業の創業者、山田昭男相談役(当時社長)に声をかけられ、81年に未来工業へ入社。

当時、未来工業がまだ拠点を持っていなかった北海道に、自ら志願して札幌営業所を設置し、営業所長として北海道全域の営業を担当した。

理由は「都会でもなく田舎でもない」札幌の街が好きだったからだという。

91年に取締役に就任。93年、営業部長就任と同時に家族を北海道に残し、本社がある岐阜県輪之内町へ赴任した。

2000年に常務、03年に社長に就任。

事業所名				電話	
住所					
電子メール		受講者名			
受講者名		受講者名			
事前の質問等					